

令和7年度

千葉県公立高校入試

個別指導
one two
最終確認単元はコシだ！

新学習指導要領における

追加単元/移行単元

※各単元の優先順位は◎→○→▲の順

国語

●【追加された都道府県名に用いる漢字20字の読みと書き】(音と訓)

→ 茨、媛、岡、潟、岐、熊、香、佐、埼、崎、滋、鹿、縄、井、沖、栃、奈、梨、阪、阜

○【共通語と方言の果たす役割について理解】

→ 共通語と方言の果たす役割やそれについて自分なりの考えをまとめる。
余裕があれば千葉県内の方言や変遷についても調べる。

○【「情報と情報との関係」「情報の整理」】

→ 複数の資料から必要な情報を読み取って整理したり、読み取った内容をもとに自分の考えを表現したりする力を重視。自分なりの情報との向き合い方をまとめる。

●【文法における助詞/助動詞と敬語】

数学①

●【四分位範囲や箱ひげ図、反例】 → R5/R4

→新たに追加された四分位範囲や箱ひげ図(中2)、反例(中2)について復習。

例・箱ひげ図における四分位数や読み取り方

- ・ある事からの逆について正しいか。正しくない場合は反例を答える

●【素数の積(素因数分解)、累積度数(累積相対度数)、誤差や近似値、 $a \times 10$ の n 乗の形の表現】 → R5/R4

→素数の積、累積度数と累積相対度数、度数分布表における最頻値(中1)、誤差や近似値、 $a \times 10$ の n 乗の形の表現(中3)について復習。

例・不等号を用いた誤差の範囲の表し方

- ・度数分布表における累積度数や累積相対度数、最頻値(度数が最も多い階級の階級値)

数学②

■その他の単元

○反比例：中1

→近年全く出題されていないので今年は要注意。そもそも反比例の関係とは何か？グラフの性質(原点について点対象)を復習。確率など他の単元と組み合わせて出題される可能性アリ。

例：大小2つのさいころを振ったとき、その出目が反比例のグラフ上にある確率

○球の表面積と体積：中1

→それぞれの公式を覚えて表面積や体積を求められるように。

半球において体積は単純に $\div 2$ で求まるが、表面積は $\div 2$ に断面の円の面積を加える。1/4、1/8も同様

▲連立方程式(分数、小数を含む)：中2

→小数を含む場合は両辺を10倍,100倍をして整数にしてから解く。

分数を含む場合は分母の最小公倍数を両辺にかけて分母をはらってから解く。

数学③

■その他の単元

○1次関数における2点を通る直線の式：中2

→近年よく出題されている問題。解き方は二通りあるので好きな方で解こう

○ひし形の定義、性質：中2

→そろそろ出しておかしくない。定義、性質をしっかりと復習

▲因数分解(共通因数でくくって、その後公式パターン)、平方根(有理化)、2次方程式(平方根の考えに基づく)：中3

○有理数と無理数の分類：中3

→それぞれの意味を理解し、分類できるように。例：次の数から無理数をすべて選べ(完答)

○二次関数における変域、変化の割合：中3

→とくにxの変域に原点を含む場合のyの変域の求め方。変化の割合は例の公式を使いこなそう！ $\rightarrow a(m+n)$

○三平方の定理(1:1: $\sqrt{2}$, 1:2: $\sqrt{3}$)：中3

→例の角度の直角三角形における比を覚えて使いこなせるように！特に1:2: $\sqrt{3}$

英語

◎ 【追加事項など】

- 原形不定詞(主語＋動詞＋目的語＋原形不定詞)→R6
- 感嘆文
- 仮定法→R5
- 現在完了進行形→R5
- 主語＋be 動詞＋形容詞＋that で始まる節
- 主語＋動詞＋間接目的語＋that (what など)で始まる節

理科①

【生物】

▲ルーペや双眼実体顕微鏡の操作方法（1年「生物の世界」）→R6/R5

○植物と動物の細胞のつくりの共通点と相違点について触れること。また、細胞の呼吸及び単細胞生物の存在（2年「生物の体のつくりとはたらき」）

▲地域の自然災害（3年「生物と環境」）

【化学】

○天然の物質や人工的につくられた物質のうち代表的なもの。代表的なプラスチックの性質

▲有機物と無機物との違いや金属と非金属との違い（1年「物質のすがた」）

◎金属によってイオンへのなりやすさが異なる(イオン化傾向)。（3年「水溶液とイオン」）→R5/R4

$\text{Na} > \text{Mg} > \text{Al} > \text{Zn} > \text{Fe} > (\text{H}) > \text{Cu} > \text{Ag}$

▲同じ元素でも、中性子の数が異なる原子がある。イオンは、化学式で表される。（3年「水溶液とイオン」）

▲電解質水溶液と2種類の金属などを用いた実験を行い、電極で起こる反応をイオンのモデルと関連付けて「電池の基本的な仕組み」を理解する。ダニエル電池の仕組み。（3年「水溶液とイオン」）→R4

▲物質を構成する原子の種類を、元素という。（2年「物質の成り立ち」）

▲人間は、水力、火力、原子力、太陽光などからエネルギーを得ている。（3年「エネルギーと物質」）

理科②

【物理】

- ◎ 白色光はプリズムなどによっていろいろな色の光に分かれる（1年「光と音」）
- ◎ 圧力(気圧/水圧)について復習。また、水中にある物体には浮力が働く（3年「運動とエネルギー」） → R6
- ▲ 「静電気と電流」内の「放射線の性質と利用」を復習。真空放電によるX線。(2年「電流」)
- ▲ 電熱線の太さと発熱（2年「電流とその利用」） → R4

【地学】

- ▲ 「日本の気象」内の「自然の恵みと気象災害」
- 日本付近のプレートの動き。地球規模でのプレートの動き。その際の津波発生の仕組み（1年「火山と地震」）
- 金星の公転と見え方（3年「地球と宇宙」）
- ▲ 火山活動や地震による災害（1年「自然の恵みと火山災害・地震災害」）
- ▲ 台風や前線による大雨・大雪，強風による気象災害（2年「自然の恵みと気象災害」）
- ▲ 圧力、大気圧（2年「気象のしくみと天気の変化」）

社会①

●時差計算→R5/R4

→現学習指導要領では「時差」を授業で扱う時期が早まった。また、地形図などを使用する地域調査の単元は三つ目の大項目「日本の様々な地域」の最初で扱う。

○【歴史における世界史】→R6/R5/R4

→モンゴル帝国が、なぜ広大なユーラシア大陸を支配し、元寇を起こしたのかや、ムスリム商人の活躍がのちの大航海時代に影響することなどが追加。

「世界の古代文明（ギリシャ・ローマの文明、古代の人々の信仰やものの見方）」、
「ユーラシアの変化（モンゴル帝国の拡大）」、「ヨーロッパ人来航の背景（アジアの交易やムスリム商人）」、「市民革命（アメリカ独立・フランス革命）」について復習。

社会②

○【北方領土・竹島・尖閣諸島について、より詳しく学習】

→近現代において、日本の領域についての学習や、現在の政治制度に関連する内容を詳しく扱う北方領土・竹島・尖閣諸島について地理、歴史、公民の観点から復習。

例：地理—日本の領土（領海,領空)について学ぶ単元（日本の姿）

歴史—明治時代の外交・国境画定について学ぶ単元（開国と近代日本の歩み） →R5/R4

公民—国際社会のしくみについて学ぶ単元（地球社会と私たち） →R6/R5

○【聖徳太子の政治】

→聖徳太子が古事記や日本書紀においては『厩戸皇子』などと表記され、のちに聖徳太子と称されるようになった流れ。

うまやど

古事記、日本書紀、風土記についても確認。